

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接 交付金事業者名	交付金事業に要した 経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に 係る整備、維 持補修又は維 持運営等措置	平成29年度緑小学校トイレ改修事 業	清川村	4,400,000	4,400,000	総事業費 7,700,000 (事業実施主体 (市町村)の総事 業費)

(備考) 事業が2つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	平成29年度緑小学校トイレ改修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		清川村		
交付金事業実施場所	愛甲郡清川村煤ヶ谷2076番地			
交付金事業の概要	村立緑小学校東棟1階に設置されているトイレの全面改修工事			
総事業費	7,700,000	交付金充当額	4,400,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	4,400,000	
交付金事業の成果目標	<p>村立緑小学校東棟1階のトイレは、当該校舎を建設した昭和47年から使用しており、著しく老朽化していることから、交付金を活用して全面改修を行います。老朽化に伴うトイレの3K（くさい、汚い、暗い）の改善及び現在の使用状況に合わない和式便器から洋式便器への変更を行い、児童（主に1学年）の学校生活の向上を促進します。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>1学年の児童の満足度80%以上を目指します。            [検証方法]            1学年の児童に対して、教員がアンケート（※）を実施            ※ トイレが改修されて「よい」「ふつう」「わからない」の3区分で実施</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>和式便器から洋式便器への変更、滑りにくい床材への変更や排水管の交換等のトイレの全面改修を行った結果、トイレの3K（くさい、汚い、暗い）等が改善され、児童の学校生活の向上が促進されました。            1学年の児童に教員がアンケートを実施したところ、14人中14人が「よい」と回答し、交付金事業の成果目標である満足度80%以上を達成しました。            また、併せて2～6学年の児童にも改修されたトイレを使用してもらい、1学年と同様にアンケートを実施したところ、117人中105人が「よい」と回答し、全児童の91%が「よい」と回答する結果になり、成果指標を達成することが出来ました。</p>			

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
トイレ改修工事	随意契約 (プロポーザル方式)	愛甲建設株式会社	7,700,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
なし			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			なし

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
  - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
  - (3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。
  - (4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。
  - (5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
  - (6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
  - (7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。